



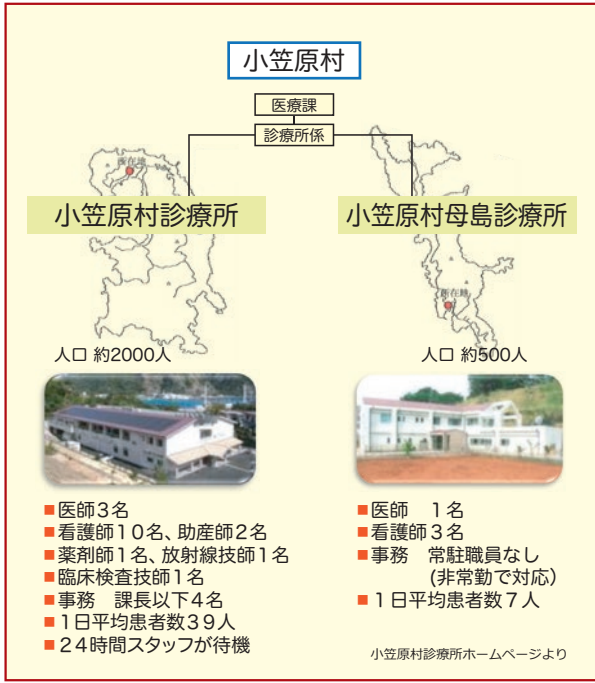
編集兼発行
公益財団法人 小笠原協会
東京都港区海岸1-12-2
竹芝客船ターミナル2階
電話 03-3432-4921
FAX 03-3432-4487
振替貯金口座(郵便)
00190-9-64610
みずほ銀行芝支店
普通 3242428

離島・遠隔地医療の 未来を拓く小笠原村での 輸血医療体制整備の取り組み

元小笠原村診療所長 笠井あすか

小笠原村の緊急患者の搬送
小笠原諸島の医療機関は父島、母島にある診療所のみで、島民、観光客以外に、近隣を航行する船舶の傷病者も受け入れている。硫黄島には自衛隊医官が1名常駐している。

手術や集中治療管理を要する場合が多い。日本でこれほど長距離搬送を要する自治体は例がなく、航空機搬送中に再出血し心停止になった患者さんもある。超遠隔離島として受け入れなくてはいけない不便



さはあるが、少しでもより良い医療を提供しようと日々取り組んでいる。

離島での困難な輸血事情

1968年6月小笠原諸島返還に伴い、米軍診療所から引き継がれ、それ以降の緊急輸血の記録は、生血輸血と自衛隊機が血液製剤を搬送し島で空中投下した症例が3例ずつある。この現状では、島民の善意による供血者の安定的確保や血液の質の保証が課題であった。

赤血球製剤の返品再出庫

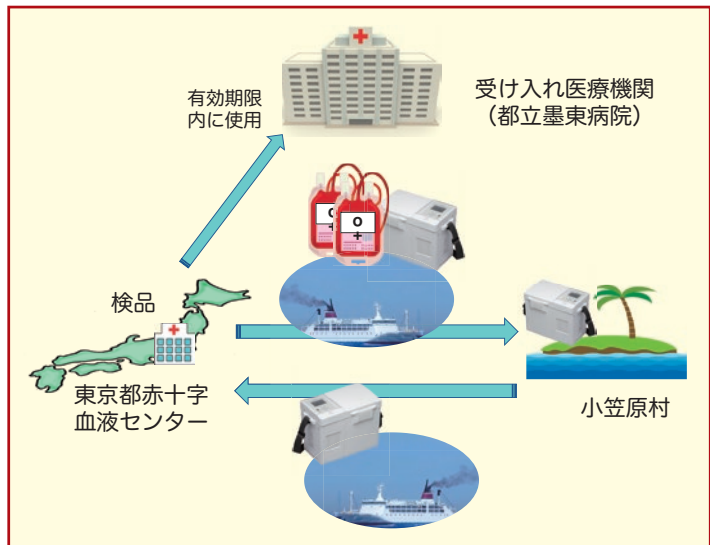
十字血液センター副所長松崎浩史医師の提案で可搬型冷蔵庫による血液運搬システムの検討プロジェクトを開始した。

力の結集

小笠原村の診療所スタッフは、①血液を廃棄しない血液備蓄体制を目指す
②輸血を行う環境の整備
③スタッフ教育の強化

小笠原村の診療所は臨床検査技師が未配置のため、医師、看護師が初めて行う手技もあり、緊急時に適切に行うこと、特に母島診療所は少人数体制のため不安が現場にあった。

東京都赤十字血液センターは、平成24年12月、血液の輸送実験を兼ねて小笠原視察を行った。その際、元CBCエスト株式会社(現セラー・ダイナミクス・インターナショナル・ジャパン、都能克博氏)は、血液搬送保管装置の試作機を提供し、おがさわら丸の船内に模擬血をいれたこの搬送装置を搭載し、全行程データ等を



記録し検証した。

また視察者による勉強会を開催したが、過去の経緯もあり小笠原村の診療所スタッフの関心度は高く、積極的な質問がでた事が印象的だった。母島でも同様の勉強会を行い、母島診療所の体制の整備について父島と連携し検討していくこととした。

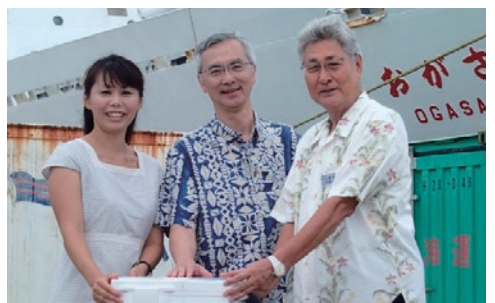
さらに、平成25年8月の第二回小笠原視察後は、関係機関への働きかけや説明等々に、東京都赤十字血液センターは、安全な血液を供給するという責務の遂行に奔走し、小笠原村医療課も強い気持ちで妥協せず取り組んだ。

血液搬送保管装置も、熱心に開発がすすめられ、急ピッチで改良、軽量化しスリムになつていく姿に驚かされた。

平成25年10月、父島にて輸血治療が必要な患者にこの装置で搬送された備蓄血を輸血した。より安全に実施でき得ることを実感した症例であった。定期輸血に関してもこのように対応でき得る心強さを確認でき、医療スタッフとしても小笠原村における医療行政の前進を実感した。

平成26年3月試験運搬を実施し、同年4月には、備蓄血運搬が開始された。さらに都立墨東病院の藤田浩医師の協力により同年12月からは小笠原ブラッドローテーション(血液廃棄率低減のための備蓄ローテーション)が開始となった。また専門家による講演会には、東京都小笠原支庁、小笠原警察署、海上自衛隊父島基地分遣隊、小笠原海上保安署、小笠原海運株式会社、島しょ保

健所小笠原出張所など、急患搬送にかかわる関係機関の積極的な参加があった。さらに、森下勇村長をはじめとした村職員、村議会議員と多くの村民の方が参加しご理解いただき、チーム小笠原による輸血医療体制となつていった。



左から筆者の笠井医師、松崎浩史医師、森下村長

現在まで上部消化管出血、出血性ショックの患者さん三人に対し、緊急輸血を実施した。いずれも輸血後、高次の医療機関に安定した状態で搬送し、後遺症もなく島に元気に戻つてこられた。

以前から都立病院から派遣される添乗医師が、所属病院から血液製剤を持ち出し、硫黄島または父島に到着後に輸血を行うことが可能となり、これが救命率をあげている。

一方、現在でも母島には備蓄血はなく、小笠原村診療所からこの血液搬送保管装置をはじま丸で運搬し対応することになっている。しかしこれでは24時間の緊急対応は困難で、今後の課題とされている。

小笠原の取組が日本の僻地離島の輸血医療体制の見直しへ

この軽量化された血液輸送保管装置は、平成27年5月東京消防庁の防災ヘリコプターへの搭載実験が完了した。また、

平成28年4月には広尾病院にも納品され、伊豆諸島の急患搬送時に持出し運用が開始された。

東京都島しょ部全体の輸血医療の体制整備の見直しは、小笠原村の輸血医療の取り組みが一つのきっかけともなり、開始された。

平成29年度からは、厚生労働省において、へき地離島の輸血医療体制に関する研究班が設置されることとなった。小笠原村のモデルが、日本の僻地離島の救急医療の向上と、日々厳しい条件の中で離島医療に携わる医療スタッフに対し役に立つものがあれば光栄と考える。さらに災害医療、在宅医療、産科危機的出血、航空医療への応用も期待される。



プロジェクトに取り組んだチーム小笠原の皆さん

行政だけの力ではなく、小笠原村を応援するメンバーとしての個の能力、専門を発揮するフィールドを作ってくれた東京都赤十字血液センターや、小笠原村の医療を前進した医療スタッフの努力および関係機関のご理解に感謝申し上げます。

ともに、これからも島民に時代にあった安心、安全な医療を提供していくことに、更なるご理解及びご協力をお願いしたい。(次号では、小笠原ブラッドローテーションについてご紹介いたします。)

協会主催新年会

平成29年、小笠原協会主催の新年会が1月24日四ツ谷で開催されました。

今村雅弘復興大臣・衆議院議員、小笠原村の森下一男村長、杉田一男村議会副議長ほか、国土交通省、東京都行政部からのご出席をいただき総勢38名の皆さまで新年の出發を祝いました。



左から鍋島会長、今村大臣、森下村長、杉田副議長

内閣府の検査

小笠原協会は平成25年に公益法人に認証されましたが、平成29年2月15日、公益法人となって初めてとなる内閣府の立入検査を受けました。検査では、法人発足の経緯や事業を説明し、基本的な法人運営の理解を得た上で、一部規程の整備について指導がありました。

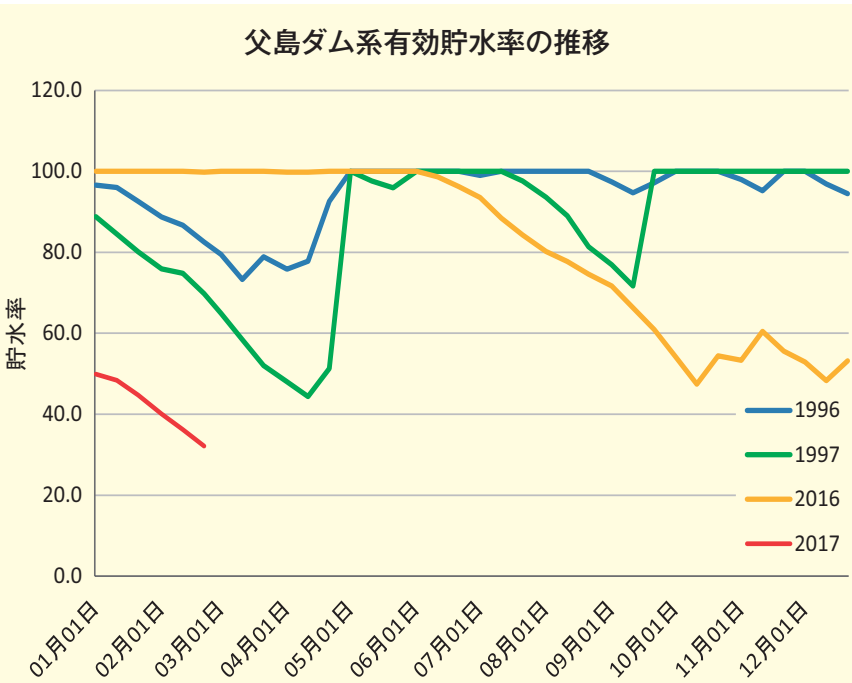
小笠原村、水不足が深刻になっています！

昨年から続く降水量の減少により、小笠原村では、父島・母島ともに水不足が問題になっています。

平成29年3月27日現在、父島のダム総貯水率は、25・6%、母島では42・0%となっており、一部のダムでは貯水率が約40年ぶりに30%を切るなど、過去のデータを見てもかなり深刻な状況です。

昨年、同時期の父島のダム貯水率が100%だったことを考えると、今小笠原村が渇水状態であるかということがわかります。(表1)

父島・時雨ダムでは、水位が下がり普段目にするのではない壁面が露わになっています。(写真)



父島におけるダム系有効貯水率の推移を示したグラフです。

これまで1月1日の貯水率は1996年の96.6%と97年の88.8%を除いてほとんどが100%でした。1月から3月にかけて小笠原の降雨量は多くなく、この3か月で貯水率が20%以上減少することは稀ではありません。2017年は49.9%からのスタートです。1997年並みに減少すると4月中旬には貯水率0%は目前となります。

2016年の降水量は1026.0mm(父島気象観測所調べ)で、例年に比べ81.0%でした。しかし、5月1日から2月16日迄の降水量は497.0mm、平年比46%と大幅に少ない状況です(小笠原諸島の少雨に関する東京都気象情報 第1報)。



水位が下がり壁面があらわになった時雨ダムの取水塔

小笠原諸島を訪ねて

播磨 進

『いつてらっしゃい』の声に送られて前回の交流ツアーからもう1年がたちました。

仙台で知り合った方から一緒に小笠原に行かないかと毎年誘われていました。何しろ片道が丸1日かかる上、6日間は何があっても帰れないという行程では、サラリーマンの参加はなかなか難しい状況でした。昨年、職場の第一線を退き、前から行きたいと思っていた小笠原に行くことにしました。初めて行った小笠原

諸島は真つ青な海、自然豊かな森、温かいおもてなしなど感動の連続で、1回ではとても消化しきれませんでした。もう一度その感動を味わいたくて今年も参加しました。

11月1日午前11時、出港です。今年のおがさわら丸は新造船で、2等個室は、個人のスペースがわかりやすくなっていて広く感じ、快適な船旅でした。

父島では昨年と同様、「ドルフィンスイム&南島」に参加しました。昨年は波が比較的穏やかで、シュノーケリング初心者でもドルフィンスイムの時に海に入ることができたのですが、今年は波が荒く、海に入れませんでした。

「南島」に上陸するには、狭い岩場を通り抜ける必要があります。波が荒いときは操舵が難しく、今年も何回か試みたのですが断念しました。

この後、兄島瀬戸海中公園に向かいました。ここは珊瑚が発達し熱帯魚が豊富に泳いでおり、シュノーケリングに最適の場所です。しばらく泳いだ後、帰路につきました。



母島交流会にて

した。お料理も亀の煮込みを始めた。島の名物がたくさん出され、とても食べきれないほどでした。踊りや歌が披露され、母島の伝統芸能を味わうことができました。島の皆さんの温かい思いが伝わる素晴らしい交流会でした。

翌日は「南崎、小富士」に行きました。車で都道最南端まで行き、そこから徒歩で約1時間。静かな森の中を、鳥の鳴き声、風に揺れる葉音、遠くの波の音などを聞き、南国特有の木や草花を鑑賞しながらゆっくり歩いて行きました。最後の急峻な道を登り切ると小富士です。そこは母島最南端の絶景で、おのの展望を心ゆくまで楽しめました。その後南崎海岸まで下り、少し海水浴を楽しみました。あつという間の2日間で、午後2時の出港時には、昨日の交流会に参加した方も含め多くの島の皆さんが見送りに来てくれました。



ハートロックを背景に

船上から見たサンセットはオレンジ色に輝き最高でした。父島の宿は、昨年もお世話になったペンションです。心のこもった料理で楽しい夜を過ごすことができました。

あつという間に、最後の日になってしまいました。半日

の自由時間は、大村海岸でシュノーケリングをして、小笠原での最後の時間を魚と共に過ごしました。

午後3時半、いよいよ出港です。今年も多くの見送りの船がスタンバイしていました。出港時には、多くの島民の方が見送りに来られ、小笠原太鼓が打ち鳴らされました。出港すると見送りの船が『行つてらっしゃい!』と叫びながらおがさわら丸を追いかけます。かなり沖まで出てから、次々と船から飛び込み、大きく手を振り見送ってくれました。2回目とは言え感動的な場面で、胸が熱くなりました。『また来年も来るぞ!』と思いつつ、父島を後にしました。



南島扇池を望む (前年撮影)

退任挨拶

小笠原協会前事務局長

林 眞一郎

昨年末、事務局長を退任いたしました。ちょうど2年勤めさせていただきました。

この間、関係機関の皆様と、とりわけ小笠原村役場をはじめ小笠原村の関係の方々には大変お世話になりました。ありがとうございました。

振り返りますと、前任者から引き継いだ特集号小笠原第60号の発行からはじまり、四半期毎の機関紙の発行、理事会・評議員会、協会ツアーの実施等々やるべき業務は様々ございました。

思い出に残る仕事のひとつは、新おがさわら丸、新ははじま丸の竣工です。両船のお披露目会にも行かせてもらいました。この新就航に合わせ、協会特集号「小笠原第

61号」は、『小笠原航路の船ぶね』と題し、多くの方々に寄稿していただきました。つぎに、『小笠原協会50年史』の発行です。協会事務局の先輩諸氏とともに資料と写真の探索、選別、整理をし、執筆も分担いたしました。時間に追われて残業の多い日々でしたが楽しい経験でした。こうした中、協会や関係者が保管している貴重な資料の整理をすすめることが出来ました。尾花作助筆の『尾花作助日記』や昭和の初め頃の大村尋常小学校の『文集など』などもその一つです。

名残は尽きませんが、協会の益々の発展と関係の皆さまのご健康を祈念してご挨拶いたします。

就任あいさつ

小笠原協会事務局長

菊地 輝雄

この1月に協会の事務局長に就任いたしました。協会設立50周年を経て、返還50周年を迎えようとする重要な節目に、事務局長を拝命し、小笠原との少なからぬご縁を感じています。

就任よりわずか3か月ですが、協会を訪れる旧島民の方や硫黄島の遺骨収集に向かわれる皆様にお会いし、思いの深さに驚かされる日々です。また、協会にはかつての平和で実り豊かな小笠原の生活を伺わせる記録とともに、強制疎開や返還にまつわる苦闘の歴史を刻む資料が数多く残されています。小笠原諸島の歴史的な背景や固有の事情を知

るにつけ、言葉に尽くせぬ先人のご苦労が偲べれます。何よりも小笠原諸島の存在が、世界の自然遺産であると同時に、この明暗の事実が戦後70年を経た今、貴重な人類の歴史的遺産であると感じています。

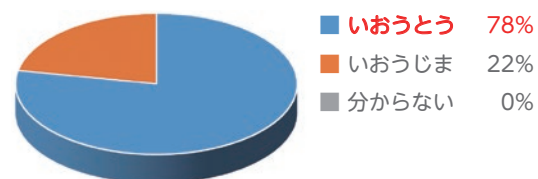
昨年刊行された本協会の50周年史を頼りに、改めて残された記録に光をあて、次の時代へと故郷の島を思う心をつなぐことが、先人のご苦労に報い。悲しみの歴史を繰り返さぬように歯止めをかけることだと思っています。微力ですが、誠心誠意努めてまいりますので、宜しくお願い申し上げます。

アイランダー 2016 で実施した「硫黄島」についてのアンケート結果

実施日・場所：2016年11月26、27日 池袋サンシャインシティ文化会館3階 対象者：小笠原協会ブースへの来訪者 回答数：405件 ※グラフは回答内容、正解は赤字で表記しています。

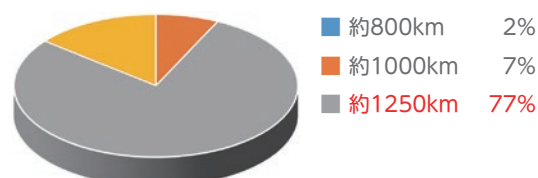
1 小笠原「硫黄島」はどう読むと思いますか？

平成18年秋、硫黄島を舞台とする邦画が上映されました。題名は「LETTERS FROM IWOJIMA」でした。平成19年3月小笠原村議会は、硫黄島(じま)を元々の呼び名である「いおうとう」に戻すよう議決。国はこれに応じて、同年6月に呼び名を変更しました。



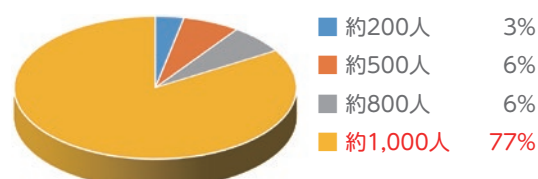
2 硫黄島は東京からどのくらい離れているでしょうか？

東京から小笠原父島までやく1,000 km。父島から硫黄島が250 kmです。



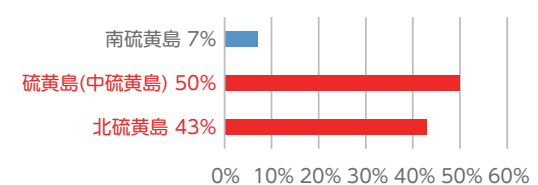
3 硫黄島に戦前居住していた住民は何人ぐらいでしょうか？

昭和19年の統計では、234世帯、1,254人です。



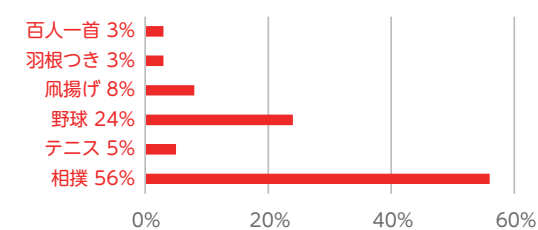
4 硫黄島列島で戦前住民が居住していた島はどこでしょうか？(複数回答)

前記昭和19年の統計では、北硫黄島に90人、硫黄島に1,164人です。北硫黄島には、最大212人住んでいたことがあります。南硫黄島には住んでいません。



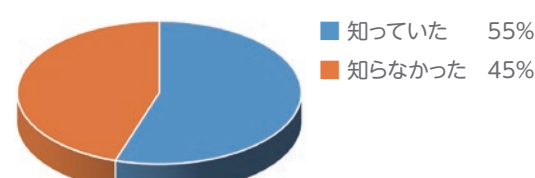
5 戦前、硫黄島の住民の娯楽で盛んだったものはなんでしょうか？

すべて正解。秋には硫黄島神社で奉納相撲があり緞子の化粧まわしも作っていました。テニスは立派なコートもあり、野球は青年学校や青年会でチームがいくつもありました。野球のボールや風、羽子板は手作りでした。百人一首を使ったカルタ大会も盛り上がりました。



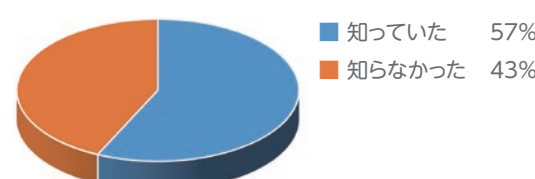
6 硫黄島の島民は、戦争が激しくなった昭和19年に軍属を残して全員が本土へ強制疎開させられたことをご存じでしたか？

昭和19年4月、戦局の悪化により東京都が小笠原島民の引揚実施要綱を決定。島民6,886人が本土に強制疎開させられました(島への残留者は825人)。わずかな手荷物のみを持ち、船底で魚雷の砲撃に怯えながらの慌ただしい疎開でした。



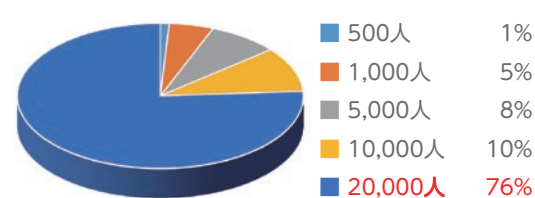
7 小笠原諸島の中でも、硫黄島の島民だけは未だに帰島できないことを知っていますか？

昭和59年5月、小笠原諸島振興審議会にて「硫黄島は、一般住民の定住は困難であり、振興開発には適さない」と答申が出され、以降、現在に至るまで硫黄島島民の帰島は実現していません。訪島の機会は、慰霊祭、墓参、遺骨収集に限られています。



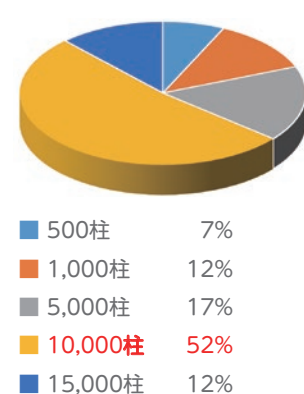
8 硫黄島で戦死した日本兵はどれくらいでしょうか？

日本兵の戦死者は20,129人です。米軍は戦傷者は2万人を超えていますが、そのうち戦死者は6,821人でした。



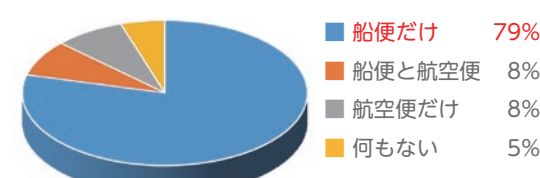
9 今年までに硫黄島で収容された遺骨はどれくらいでしょうか？

10,378柱です。慰霊事業で10,170柱、渡島者等により208柱が収容されました。

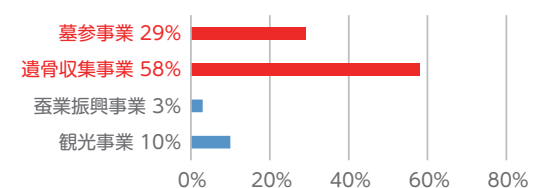


10 小笠原までの交通手段は次のうちどれでしょうか？

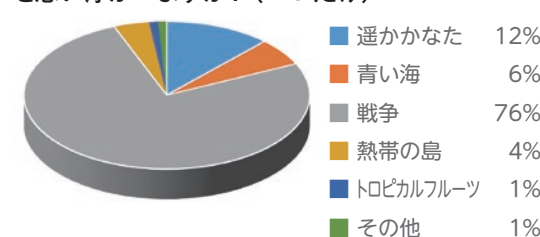
定期航路は、現在三代目おがさわら丸が就航しています。航空路の計画は何度も実現しそうでしたが実現していません。



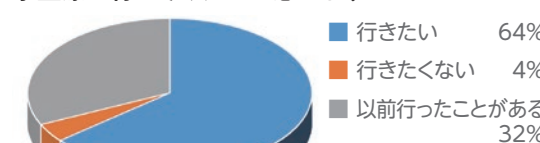
11 硫黄島で行われている事業は次のどれでしょうか？



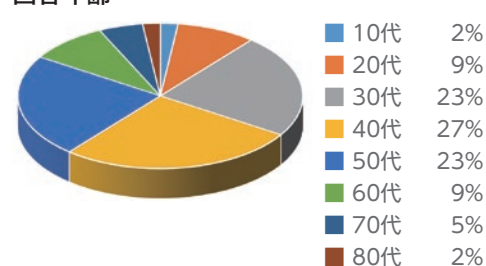
12 「硫黄島」と聞いてあなたは、どのようなイメージを思い浮かべますか？(一つだけ)



13 小笠原に行ってみたいと思いますか？



14 回答年齢



小笠原DAY2017 開催されました

平成29年1月22日(日)、竹芝客船ターミナル第2待合所において「小笠原DAY2017」が開催されました。当日の入場者数は8百人を超え大盛況でした。

会場入り口はオープン前から長蛇の列で、小笠原産の塩ポップコーン、島レモンウォーター、ラム酒、メカジキのフリッター「メカブレ!」が無料で提供され、他にカメラ等の特産品や限定グッズに加え、母島の海底で1年間熟成されたラム酒「海底熟成ラムMOTHER」が今回初めて一般販売されました。また、すみだ水族館の出

張水族館、小笠原海運、東京ヴァンテアンクルーズ、小笠原母島観光協会、当協会のそれぞれのコーナーにもたくさんの人々が訪れてにぎわっており、また、ちなみに当協会は「硫黄島」についてパネルの展示をさせていただきまし

た。パネルは、「アイランダー2016」と同様のものを使用しました。硫黄島の歴史と現状をいくらかでも伝えたいとの思いから、「硫黄島島民の会」の代表の方2名に応援

をいただき、パソコンによる「硫黄島訪問の記録」をスライドショーで展示を行いながら、細かな説明をしていただきました。



帰ろう心の故郷へ！ 行こう念願の島へ！！

計報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。
セーボレーみき子様 94歳
平成29年1月17日ご逝去
父島北袋沢出身 旧姓 浅沼

海況不良のため午後7時、ようやく「おがさわら丸」が竹芝桟橋に到着。イベントが終了しているにもかかわらず「オガマルシェ」がオープンすると新鮮なミニトマト、島オクラ、ピーマン、パパイア、メロン、ブタン等を買い求める人で長い列ができ、あつという間に完売の状態でした。

平成 29 年 3 月 1 日現在 () 内は前年同月		平成 29 年 2 月気象状況 () 内は前年同月 (父島)	
住民基本台帳登録者数 ○世 帯	1,492 世帯 (1,454 世帯)	最高気温	23.2℃ (24.7℃)
		最低気温	11.7℃ (13.1℃)
父 島	1,223 世帯 (1,194 世帯)	平均気温	17.5℃ (19.5℃)
		平均湿度	62 % (70 %)
母 島	269 世帯 (260 世帯)	月降水量	56.0 mm (116.5 mm)
		(気象庁 ホームページ)	
○人 口		平成 29 年 2 月中の来島者数 () 内は前年同月 (父島)	
父 島	2,600 人 (2,569 人)	定期船	2,885 人 (2,279 人)
		観光船	0 人 (0 人)
父 島	2,127 人 (2,120 人)		
母 島	473 人 (470 人)		

賛助会費を募集しています！

日頃より、小笠原協会の事業にご理解とご協力をいただき心よりお礼申し上げます。

皆様からの賛助会費および寄付金は、機関紙「小笠原」や特集号の発刊など広く小笠原のPRに活用しています。

小笠原を愛する方、もっと知りたい方、興味をお持ちの方が周囲にいらっしゃいましたら、ぜひ小笠原協会賛助会へのご入

会をご検討いただけますよう、お声掛けいただければ幸いです。

入会は、インターネットで当協会HPのトップ画面から「会員登録」↓「賛助会員になるには」をご覧ください。 (<http://www.ogasawarak.org>)

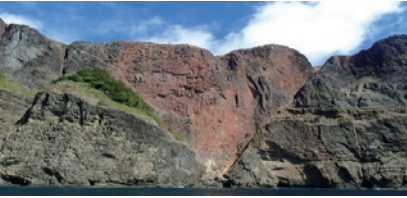
お電話 (03-3432-4921) でのお問い合わせやお申込みも承っております。

ひとりでも多くの方に賛同をいただけますよう、なにとぞ、よろしく願いたします。

小 笠 原 航 路 時 刻 表

(平成29年4月～29年9月)

ハートロック (千尋岩)



運航月時刻	東京発	父島着泊	父島泊	父島泊	父島発	東京着	父島泊数
H29 4月	11:00	11:00	—	—	15:30	15:30	3泊
	1 (土)	2 (日)	3 (月)	4 (火)	5 (水)	6 (木)	3泊
	8 (土)	9 (日)	10 (月)	11 (火)	12 (水)	13 (木)	3泊
	15 (土)	16 (日)	17 (月)	18 (火)	19 (水)	20 (木)	3泊
5月	22 (土)	23 (日)	24 (月)	25 (火)	26 (水)	27 (木)	3泊
	29 (土)	30 (日)	—	—	30 (日)	5/1 (月)	父島折り返し
	2 (火)	3 (水)	—	—	3 (水)	4 (木)	父島折り返し
	5 (金)	6 (土)	—	—	6 (土)	7 (日)	父島折り返し
6月	※1 8 (月)	9 (火)	10 (水)	11 (木)	12 (金)	※1 13 (土)	3泊
	※2 14 (日)	15 (月)	16 (火)	17 (水)	※2 18 (木)	19 (金)	3泊
	20 (土)	21 (日)	22 (月)	23 (火)	24 (水)	25 (木)	3泊
	26 (金)	27 (土)	28 (日)	29 (月)	30 (火)	31 (水)	3泊
7月	2 (火)	3 (水)	4 (木)	5 (金)	6 (土)	7 (日)	3泊
	9 (金)	10 (土)	11 (日)	12 (月)	13 (火)	14 (水)	3泊
	16 (金)	17 (土)	18 (日)	19 (月)	20 (火)	21 (水)	3泊
	22 (木)	23 (金)	24 (土)	25 (日)	26 (月)	27 (火)	3泊
8月	28 (水)	29 (木)	30 (金)	7/1 (土)	7/2 (日)	7/3 (月)	3泊
	5 (水)	6 (木)	7 (金)	8 (土)	9 (日)	10 (月)	3泊
	12 (水)	13 (木)	14 (金)	15 (土)	16 (日)	17 (月)	3泊
	19 (水)	20 (木)	21 (金)	22 (土)	23 (日)	24 (月)	3泊
9月	26 (水)	27 (木)	28 (金)	29 (土)	30 (日)	31 (月)	3泊
	2 (水)	3 (木)	—	—	3 (木)	4 (金)	父島折り返し
	5 (土)	6 (日)	—	—	6 (日)	7 (月)	父島折り返し
	9 (水)	10 (木)	—	—	10 (木)	11 (金)	父島折り返し
10月	12 (土)	13 (日)	—	—	13 (日)	14 (月)	父島折り返し
	16 (水)	17 (木)	—	—	17 (木)	18 (金)	父島折り返し
	19 (土)	20 (日)	—	—	20 (日)	21 (月)	父島折り返し
	22 (火)	23 (水)	—	—	23 (水)	24 (木)	父島折り返し
11月	26 (土)	27 (日)	28 (月)	29 (火)	30 (水)	31 (木)	3泊
	1 (金)	2 (土)	3 (日)	4 (月)	5 (火)	6 (水)	3泊
	8 (金)	9 (土)	10 (日)	11 (月)	12 (火)	13 (水)	3泊
	14 (木)	15 (金)	16 (土)	17 (日)	18 (月)	19 (火)	3泊
12月	20 (水)	21 (木)	22 (金)	23 (土)	24 (日)	25 (月)	3泊
	※3 26 (火)	27 (水)	28 (木)	29 (金)	30 (土)	※3 10/1 (日)	3泊

※1、2 久里浜寄港 (予定) / 寄港便の父島着と東京着は 30 分遅延となります。
※3 館山寄港 (予定) / 寄港便の父島着と東京着は 30 分遅延となります。

◎問い合わせ先 小笠原海運株式会社 03-3451-5171

法人特別賛助会費
▽五十口
硫黄島産業(株)
▽二十五口
杉田建設興業(株)
▽十口
五洋建設(株)東京土木支店
日章建設(株)
(有)スーパ一小祝
▽五口
(株)オーシーエフ
大昭産業(株)
(株)トマック
▽三口
七島信用組合
(公財) 東京都公園協会
東京都職員信用組合
▽二口
日章通信建設(株)
小笠原海運(株)
小笠原グリーン(株)
太平洋建設(株)
(有)小笠原整備工場
▽一口
(有)ハマフーズ
(株)共勝丸
学校法人中込学園
大神山神社
小笠原神社
岡本建設(有)
(有)チャリーブラウン

渡邊 手塚 宮田 杉山 永阪 石山 国松 鈴木 清水 本間 米田 長田 伊東 清水 島田 米澤 小谷 渡辺 菅 菅 神藤 信之 中村 益美
勇 年章 弘樹 真也 彰 進 修 聡 吉徳 健一 幸子 桜井 田中 知己 中村 晶晴 石倉 綾子 細井 聖子 首藤 由美 菅 ひろみ

新規入会者
松井 健一 (二口)
野上 医 佐藤嘉久男
佐藤ひろみ 水木みゆき
山口 理恵 初見美穂子
阿部 信弘 阿部 裕子
荒木 信之 久保田 行
古谷 洋子 植村 郁子
鈴木 佑制 鈴木 光子
山越 茂樹 山越 淳子
若松眞佐雄 若松 美子
田中 淳一 吉谷 彰治

民宿たつみ
なんでも館アサヒ薬局
(有)フリーシヨップマルヒ
(株)品川建設
(株)小笠原マリン
(株)小笠原ダイビングセンター
大昭産業(株)
(有)丸丈
(有)小笠原整備工場
ペンションキャベツビーチ
割烹ぼう家
小笠原消費生活協同組合
第七貴丸 菊池勝貴
(有)小笠原村社会福祉協議会
(有)小笠原ダイビングセンター
割烹若ざわ富海亭
サクタ工務
小笠原商事(株)
ボーンブルーシマの宿ちどり
▽特集号広告
(有)スーパ一小祝
▽寄付金 (個人)
山田喜代子 出原 知之
曽根 博義 大平 京子
長田 眞作 菊池 武博

誠に勝手ながら、掲載順は不同、敬称は略させていただきます。
なお万が一、未掲載の失礼がありましたら次号掲載しますのので一報ください。

さあ！母島へ行こう

母島への航路 (ホエールライン)

母島は父島の南約50kmに位置しその広さは約21km²です。島の中央に乳房山(463m)があり島の周囲は58kmあります。母島を観光される方は、下記の時刻表でぜひ訪島してください。

(平成29年4月～29年9月)

運航月時刻		おがさわら丸 父島 入港日		おがさわら丸 父島 入港の翌日		おがさわら丸 父島 出港日		おがさわら丸 父島 入出港日		その他の日			運休日
時刻	父島 出港	12:00 ↓	5/9、 5/15、 9/27は 12:30 ↓		5/4、 7/21、 7/28、 8/4、 8/11、 8/18、 8/24は ↓		7:30 ↓		7:30 ↓	13:30 (14:00) ↓		7:30 ↓	
	母島 入港	14:00 ↓	14:30 ↓				9:30 ↓		9:30 ↓	15:30 (16:00) ↓		9:30 ↓	
	母島 出港			14:00 ↓	15:00 ↓		12:00 ↓		10:30 (10:00) ↓	16:00 ↓		14:00 ↓	
	父島 入港				16:00 ↓	17:00 ↓		14:00 ↓		12:30 (12:00) ↓	18:00 ↓		16:00 ↓
運行日	H29 4月	2 (日) 9 (日) 16 (日) 23 (日)		3 (月) 10 (月) 17 (月) 24 (月)		5 (水) 12 (水) 19 (水) 26 (水)		30 (日)	1 (土) 4 (火) 7 (金) 8 (土) 11 (火) 22 (土)	14 (金) 15 (土) 18 (火) 21 (金) 22 (土)	25 (火) 28 (金) 29 (土)	6 (木) 13 (木) 20 (木) 27 (木)	
	5月	9 (火) 15 (月) 21 (日) 27 (土)		4 (木) 10 (水) 16 (火) 22 (月) 28 (日)		12 (金) 18 (木) 24 (水) 30 (火)		3 (水) 6 (土)	2 (火) 5 (金) 8 (月) 11 (木) 14 (日) 17 (水)	20 (土) 23 (火) 26 (金) 29 (月)		1 (月) 7 (日) 13 (土) 19 (金) 25 (木) 31 (木)	
	6月	3 (土) 10 (土) 17 (土) 23 (金) 29 (木)		4 (日) 11 (日) 18 (日) 24 (土) 30 (金)		6 (火) 13 (火) 20 (火) 26 (月)			1 (木) 2 (金) 5 (月) 8 (木) 9 (金)	12 (月) 15 (木) 16 (金) 19 (月) 22 (木)	25 (日) 28 (水)	7 (水) 14 (水) 21 (水) 27 (火)	
	7月	6 (木) 13 (水)		7 (金) 14 (金) 21 (金) 28 (金)		2 (日) 9 (日) 16 (日)		20 (木) 23 (日) 27 (木) 30 (日)	1 (土) 4 (火) 5 (水) 8 (土) 11 (火)	12 (水) 15 (土) 17 (月) 19 (水) 22 (土)	25 (火) 26 (水) 29 (土)	3 (月) 10 (月) 18 (火) 24 (月) 31 (月)	
	8月			4 (金) 11 (金) 18 (金) 24 (木) 28 (月)				3 (木) 6 (日) 10 (木) 13 (日) 17 (木) 20 (日) 23 (木)	1 (火) 2 (水) 5 (土) 8 (火) 9 (水) 12 (土) 15 (火)	16 (木) 19 (土) 22 (火) 25 (金) 26 (土) 29 (火)		7 (月) 14 (月) 21 (月) 31 (木)	
	9月	2 (土) 9 (土) 15 (金) 21 (木) 27 (水)		3 (日) 10 (日) 16 (土) 22 (金) 28 (木)		5 (火) 12 (火) 18 (月) 24 (日) 30 (土)		5/3、7/20、 7/27、8/3、 8/10、8/17、 8/23は、() の 時刻で運行	1 (金) 4 (月) 7 (木) 8 (金) 11 (月)	14 (木) 17 (日) 20 (木) 23 (土) 26 (火)	29 (金)	6 (木) 13 (木) 19 (火) 25 (月)	

※便により運行日時が異なる場合がございますので、必ず事前にご確認ください。

問い合わせ先 伊豆諸島開発株式会社 ☎ 03-3455-3090